

令和元(2019)年度卓越大学院プログラム審査結果

機関名	東京海洋大学		
プログラム名称	海洋産業 AI プロフェッショナル育成卓越大学院プログラム		
プログラム責任者	井関 俊夫	プログラムコーディネーター	庄司 るり

〔採択理由〕

現在我が国では、第5期科学技術基本計画や第3期海洋基本計画で Society5.0 の実現や科学技術イノベーション創出がうたわれている。海事産業分野では「海事生産性革命」が強力に押し進められており、海洋分野においてネットワーク技術や AI、ビッグデータ等を活用できる人材を確保するだけでなく、新たに育成していくことが急務とされている。情報分野の技術者不足が深刻な問題となっている中で、本プログラムはこのような社会的要請に応える提案となっており、養成すべき人材像も明確に設定されている点が評価できる。

東京海洋大学は、海洋分野を専門とする大学として海洋に関する幅広い領域の学術的基盤の教育研究をカバーし、有能な人材輩出に寄与してきた実績を有しており、特に、船舶海洋工学関連では質量ともに群を抜いて日本の海運業の国際競争力の一翼を担っている。海洋の様々な領域における IT 技術の実装を先導する人材育成を前面に打ち出した教育プログラムは、独自性が高く、国内唯一の海洋系国立大学で実施される意味は大きい。

また、本プログラムにおいても海洋に関する全ての産業分野を対象にしていることから、海洋分野の多種多様な優れたプログラム担当者が配置されており、実現可能性が高く、相乗効果が期待される。

東京海洋大学の中長期ビジョンである「ビジョン 2027」を実現するための中核的プログラムの一つであり、最終的に「海洋産業 AI プロフェッショナル」を育成するための学位プログラム「海洋産業データサイエンス専攻（仮称）」の設置につなげるものとして戦略的に位置付けられていることから、プログラムの継続・発展が期待できる。さらに、補助期間終了後も継続するための資産の有効活用等も含めた検討もなされている。